

総則

1 地震災害の危険性と被害の特徴

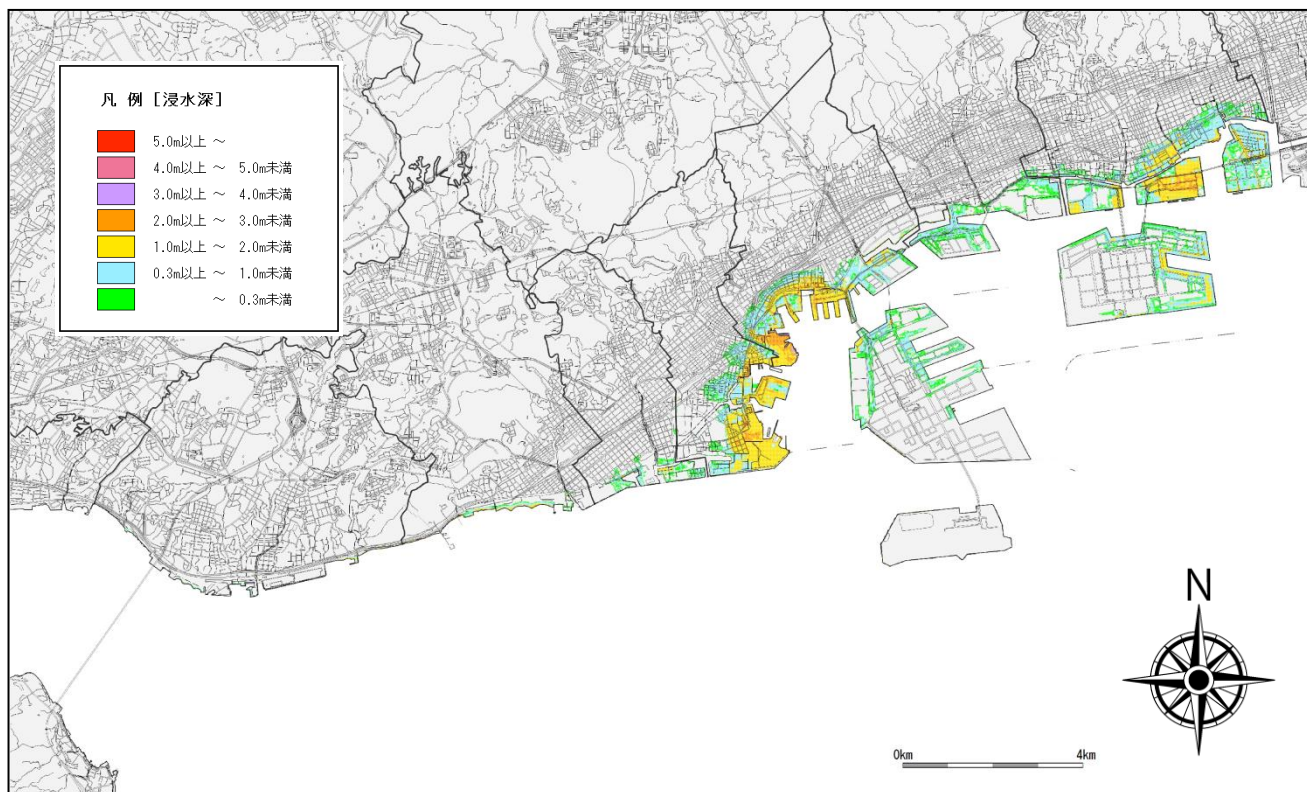
内陸型地震（活断層（主要））														活断層（主要以外）			
凡例	地域名	三峠一京都西山断層帯（上林川断層帯）				三峠一京都西山断層帯（三峠断層帯）		大阪湾断層帯	山田断層帯（主部）	山田断層帯（畑村断層帯）	花折断層帯中南部	木津川断層帯	奈良盆地東縁断層帯	御所谷断層帯	養父断層帯	鳥取地震	
		M7.2	M7.2	M7.2	震度5強 震度6弱	M7.5 震度7 震度6強 震度6弱 震度6強 震度6弱 震度6強 震度6弱 震度6強 震度6弱 震度6強 震度6弱	M7.4 震度4以下 										

[illegible]

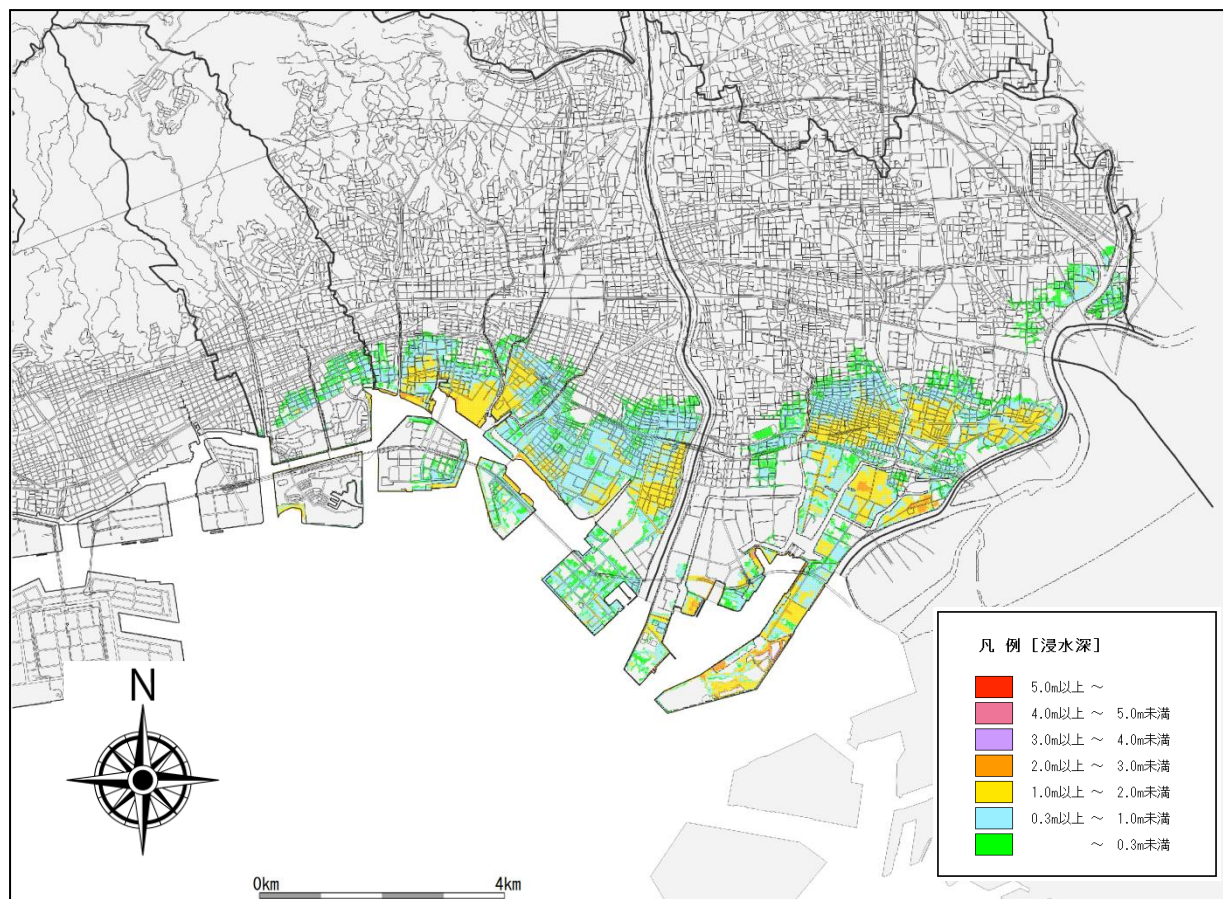
(総 1 - 2) 南海トラフ巨大地震津波浸水想定図 (ケース① (※))

※ケース①：防潮門扉等一部閉鎖、津波が防潮堤を越流した場合破堤あり

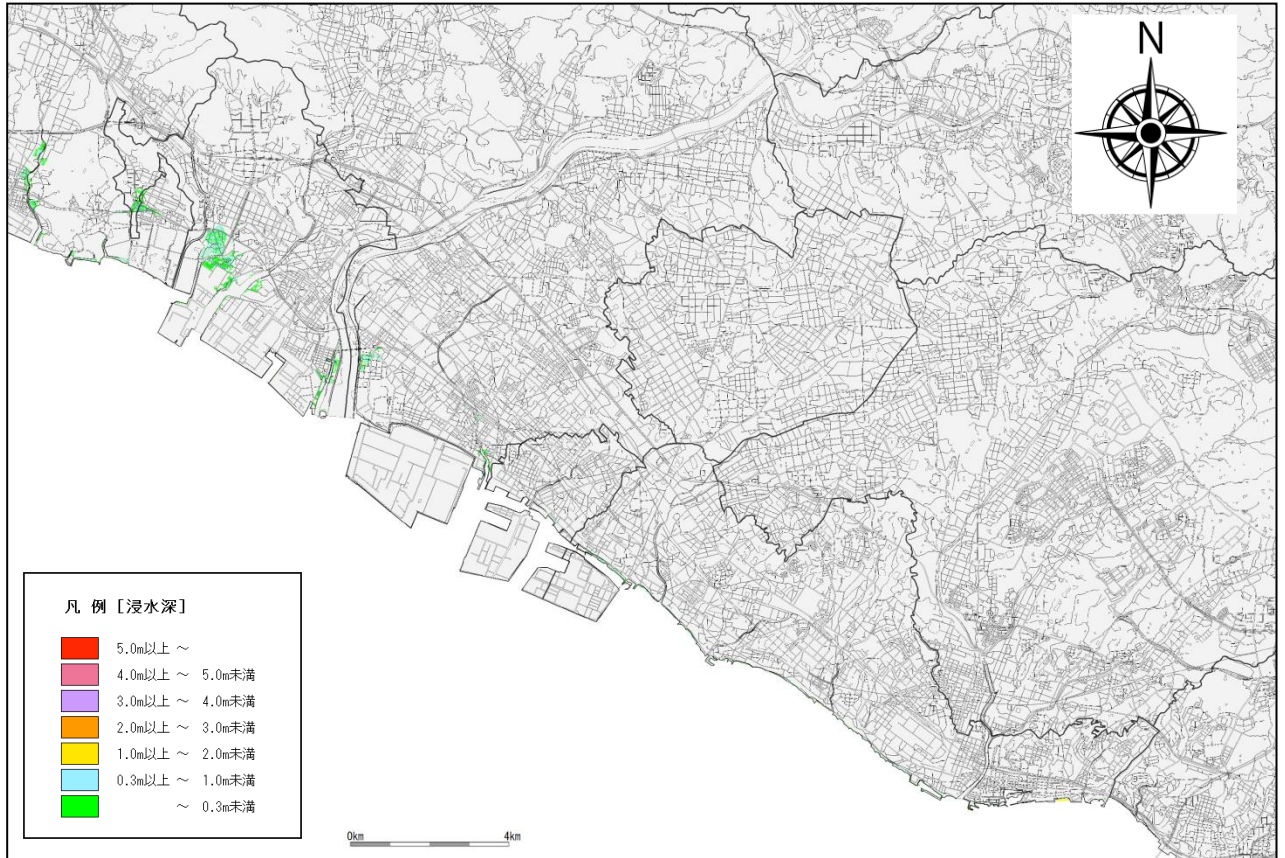
(1) 神戸地区



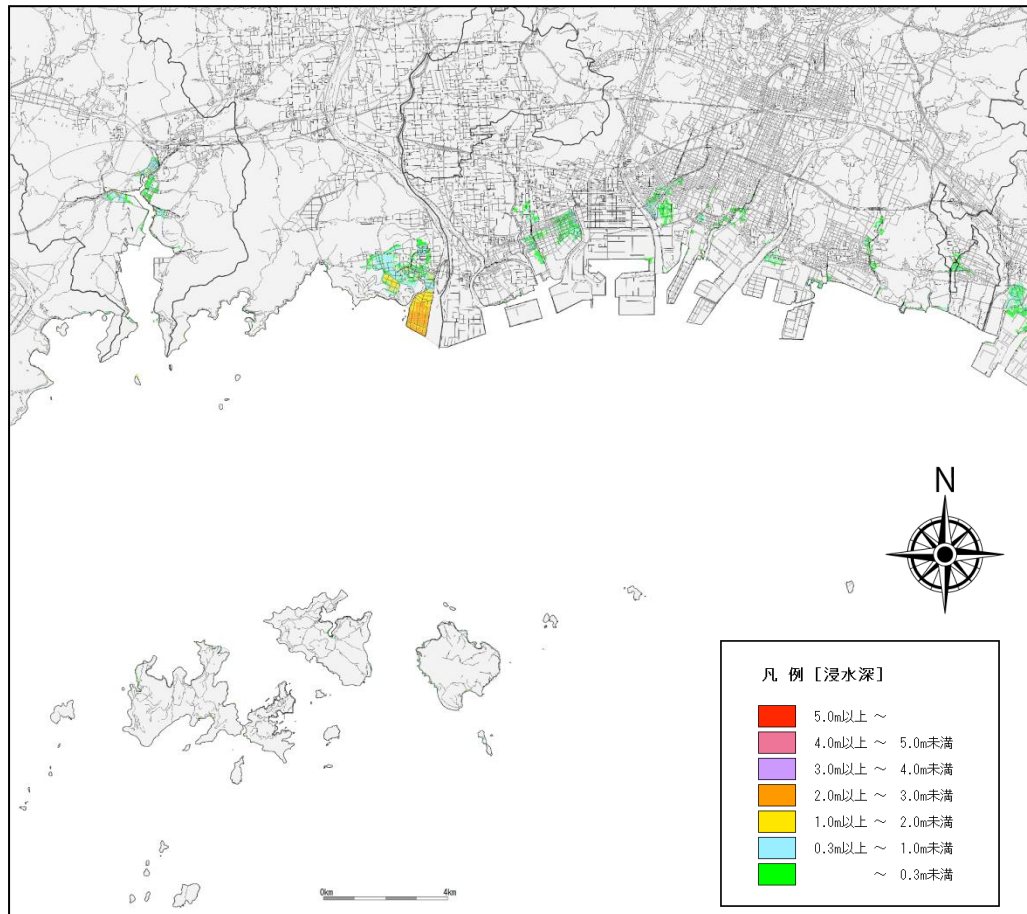
(2) 阪神地区



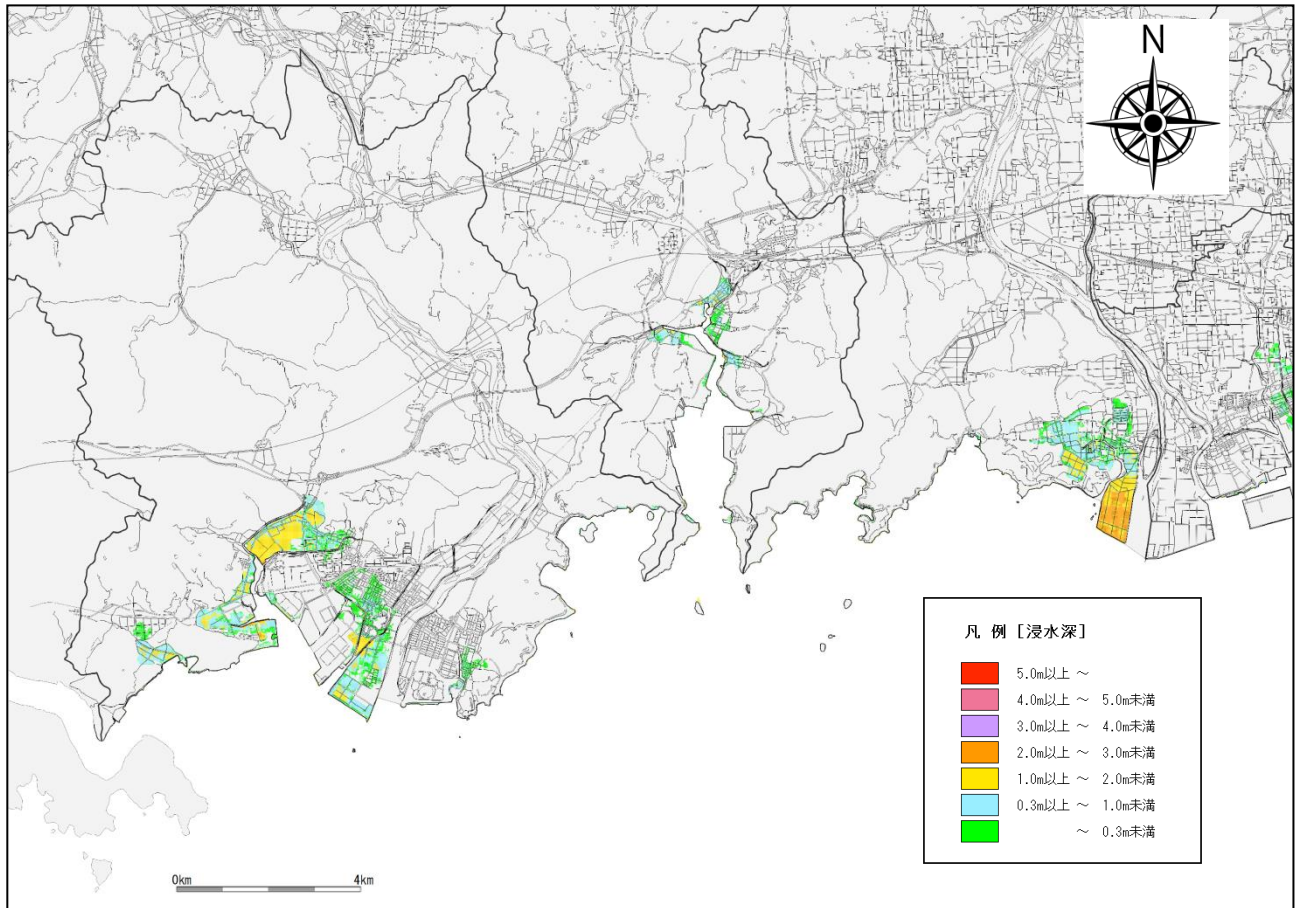
(3) 東播磨地区



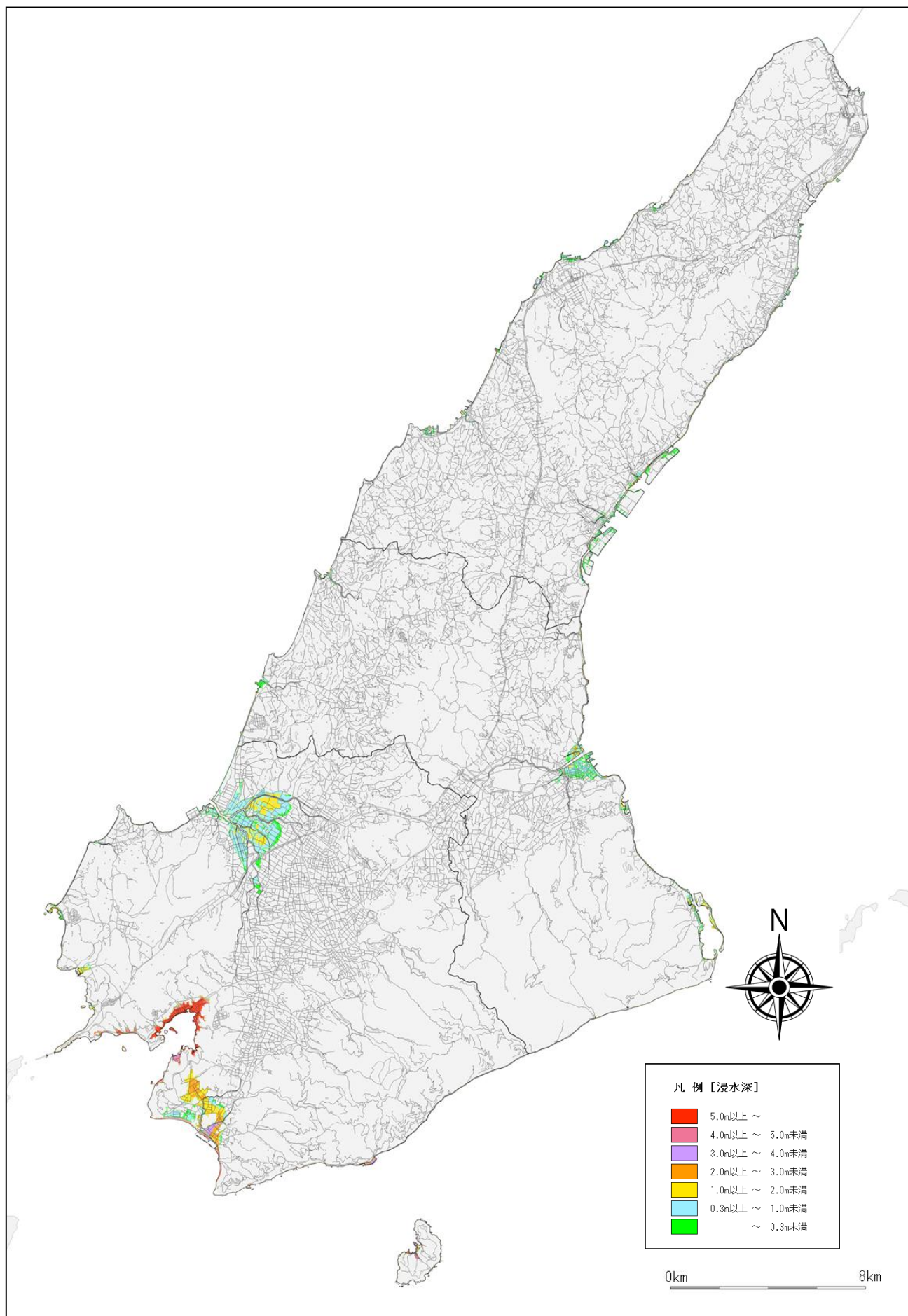
(4) 中播磨地区



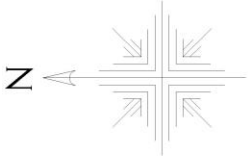
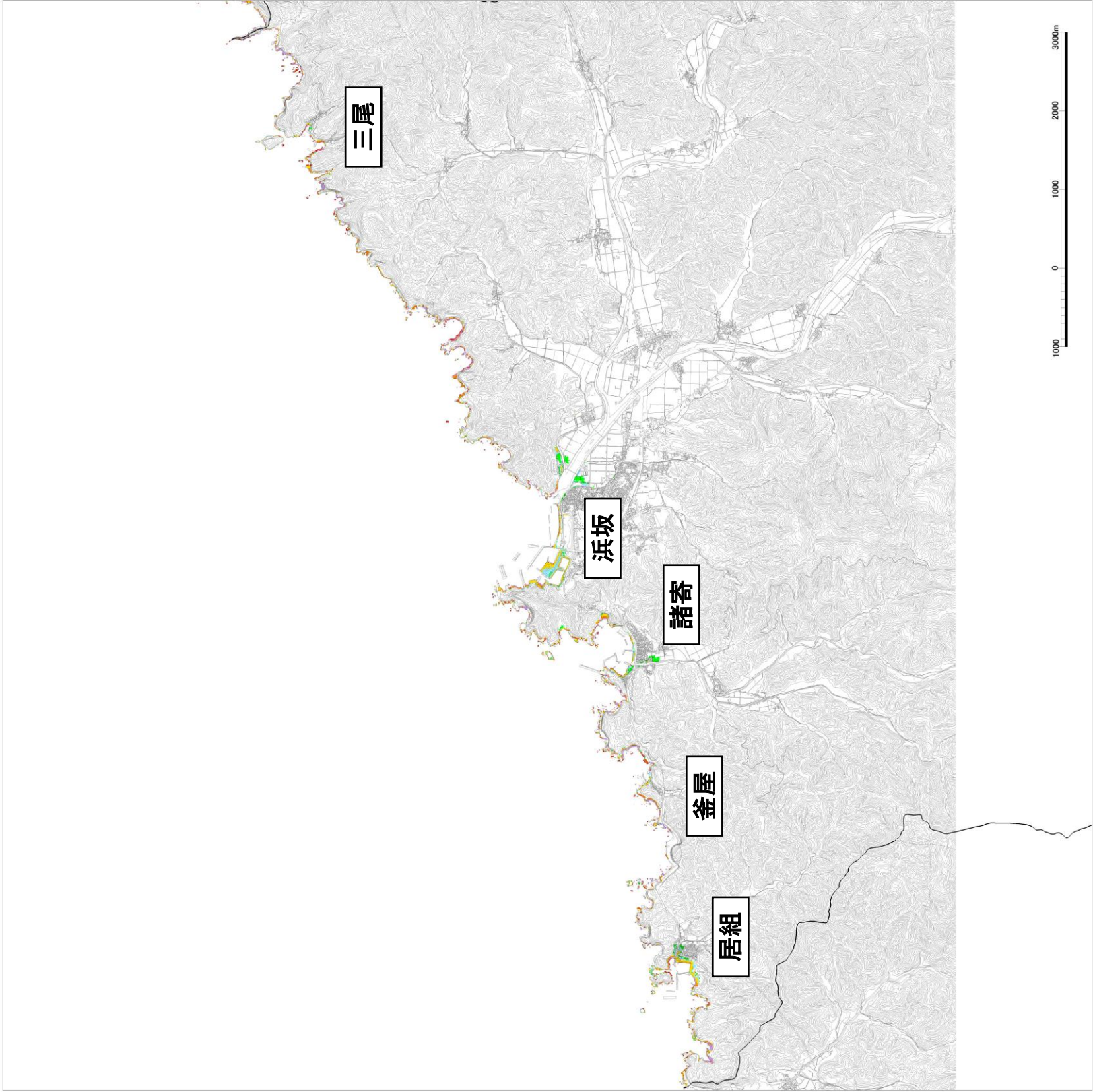
(5) 西播磨地区



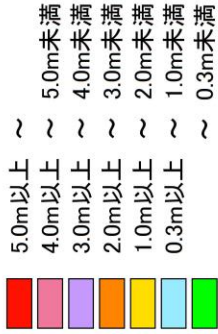
(6) 淡路地区



【兵庫県 津波浸水想定図：新温泉町】



凡 例 [浸水深]



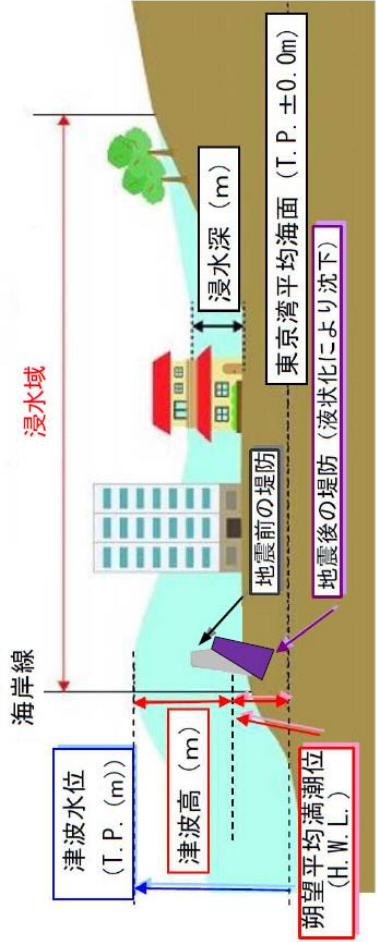
【構造物条件】
条件：施設あり、地殻変動による沈下あり、天端越流破堤あり

- ※ 強振動による液状化に伴い防潮堤等の防潮施設は沈下し、さらに、津波が天端を越流したら破堤する
- ※ 常時閉鎖されている、あるいは、耐震性を有し、自動化され、津波が到達するまでに閉鎖が完了できる施設は「閉」条件とする

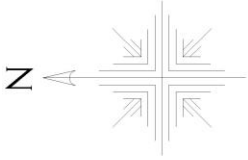
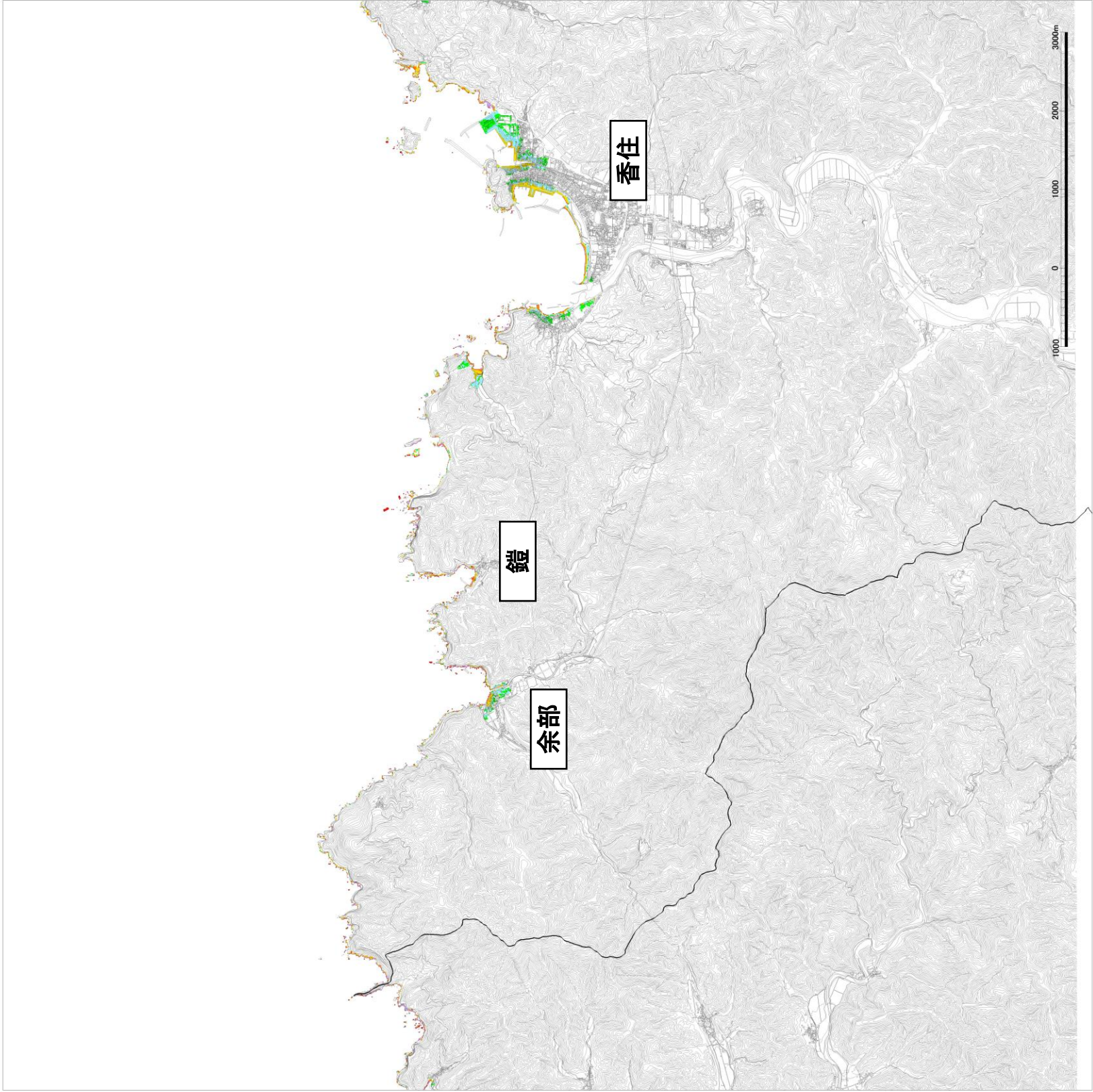
海岸保全施設 河川管理施設	地殻変動に伴う 沈下	液状化による 沈下	津波が施設天端を 越流した場合
あり	考慮	考慮	破堤

【留意事項】

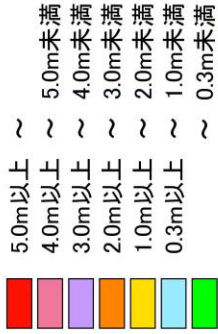
- 「津波浸水想定図」は、最大クラスの津波が一定の条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。
- 最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や今後発生が予測される津波から想定したものであり、これより大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。
- 実際の被害では、局地的な地面の凹凸や建築物、地震による地殻変動や構造物の変状等の影響を受けるため、計算条件と異なる影響が発生し、浸水域外での浸水の発生や、浸水深がさらに深くなる場合があります。



【兵庫県 津波浸水想定図:香美町 1】



凡 例 [浸水深]



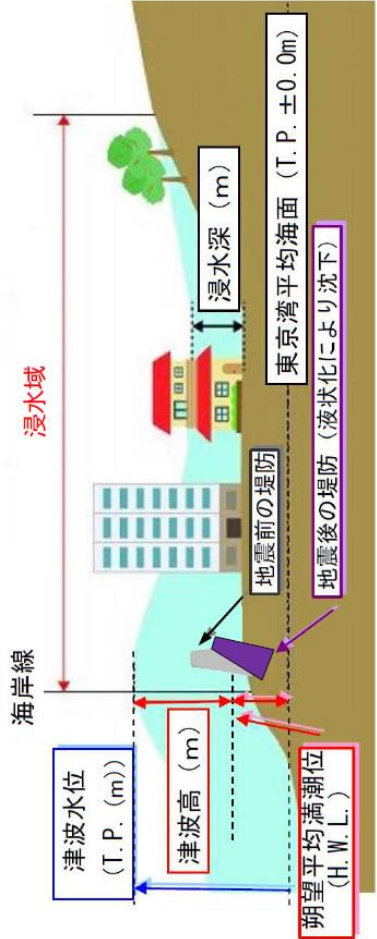
【構造物条件】
条件:施設あり、地殻変動による沈下あり、天端越流破堤あり

- ※ 強振動による液状化に伴い防潮堤等の防潮施設は沈下し、さらに、津波が天端を越流したら破堤する
- ※ 常時閉鎖されている、あるいは、耐震性を有し、自動化され、津波が到達するまでに閉鎖が完了できる施設は「閉」条件とする

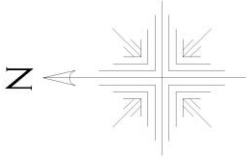
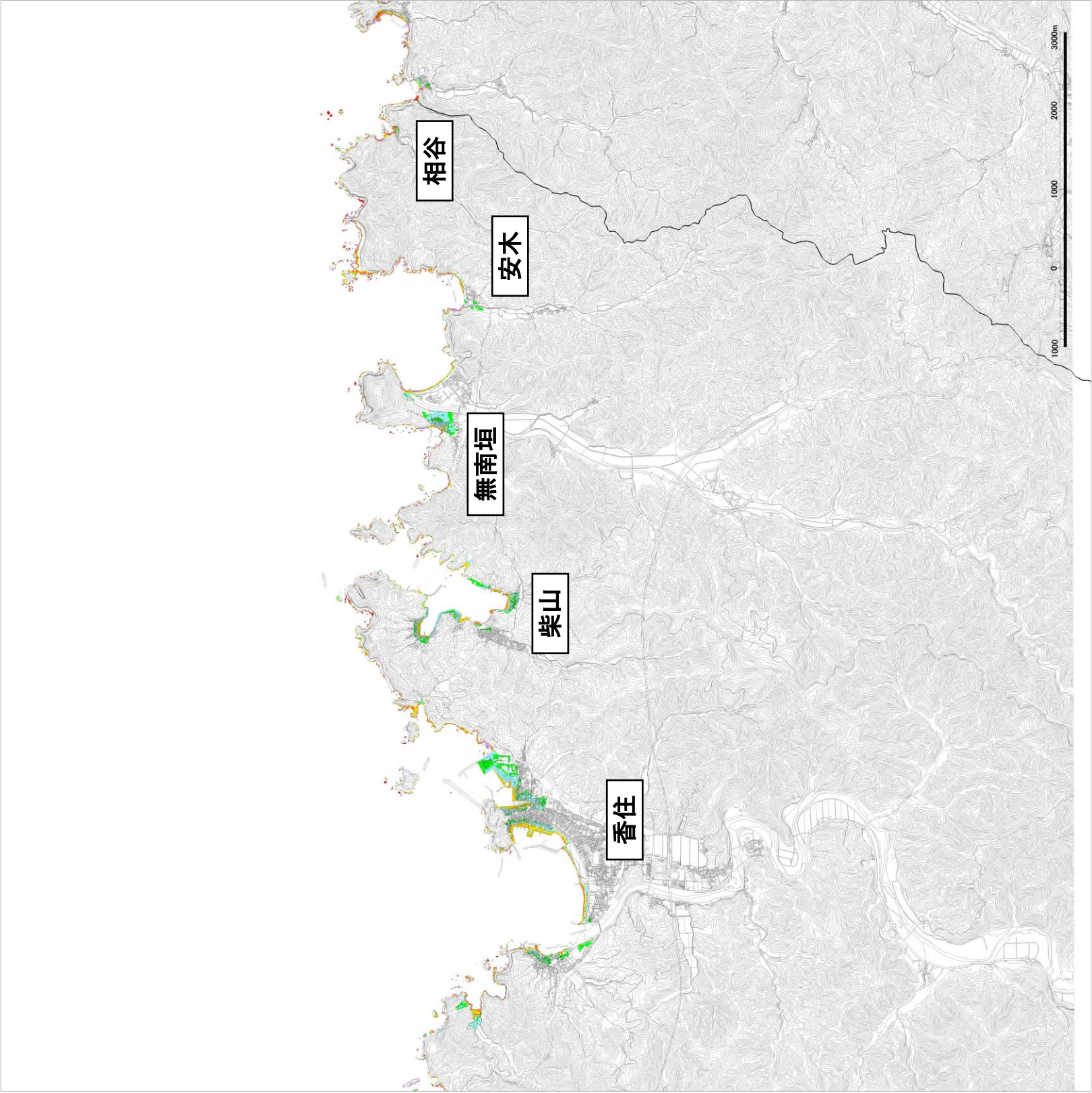
海岸保全施設 河川管理施設	地殻変動に伴う 沈下	液状化による 沈下	津波が施設天端を 越流した場合
あり	考慮	考慮	破堤

【留意事項】

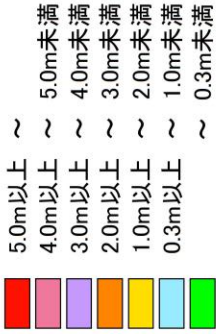
- 「津波浸水想定図」は、最大クラスの津波が一定の条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。
- 最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や今後発生が予測される津波から想定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。
- 実際の被害では、局地的な地面の凹凸や建築物、地震による地殻変動や構造物の変状等の影響を受けるため、計算条件と異なる影響が発生し、浸水域外での浸水の発生や、浸水深がさらに深くなる場合があります。



【兵庫県 津波浸水想定図:香美町 2】



凡 例 [浸水深]



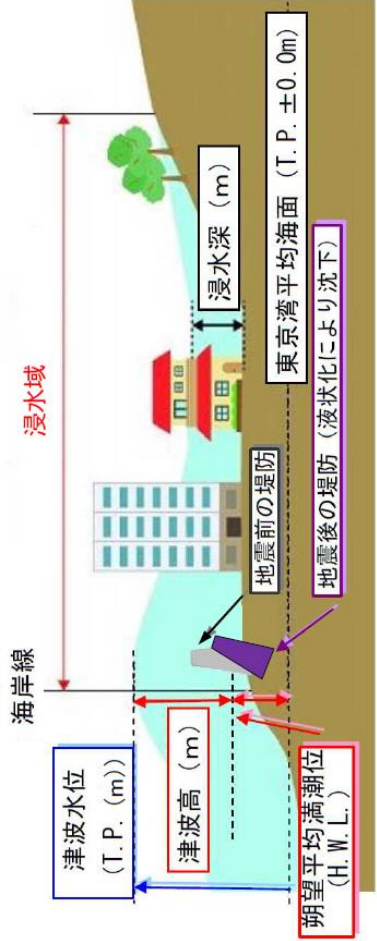
【構造物条件】
条件:施設あり、地殻変動による沈下あり、天端越流破堤あり

- ※ 強振動による液状化に伴い防潮堤等の防潮施設は沈下し、さらに、津波が天端を越流したら破堤する
- ※ 常時閉鎖されている、あるいは、耐震性を有し、自動化され、津波が到達するまでに閉鎖が完了できる施設は「閉」条件とする

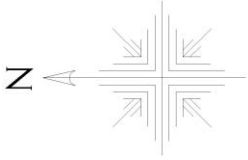
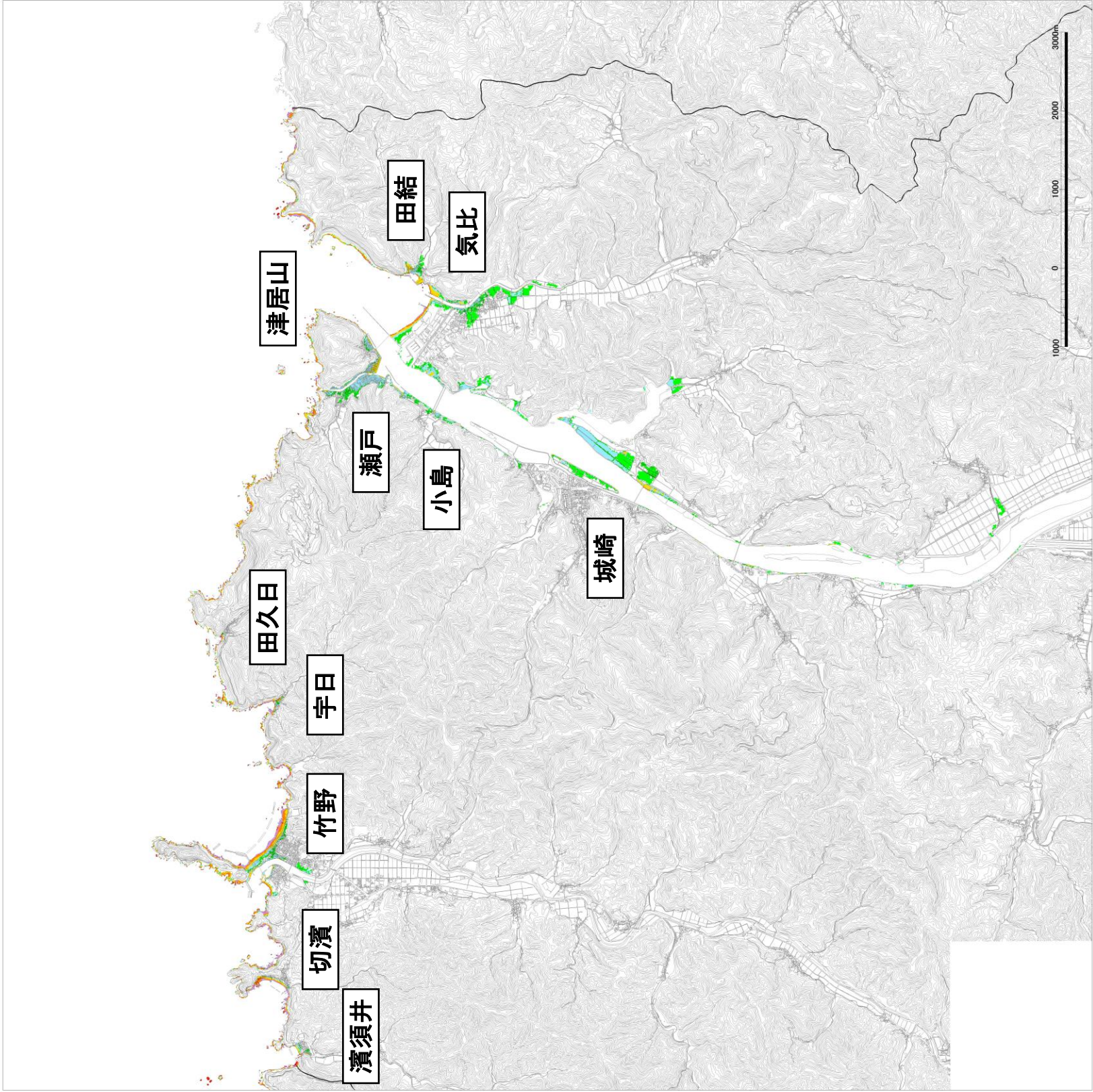
海岸保全施設 河川管理施設	地殻変動に伴う 沈下	液状化による 沈下	津波が施設天端を 越流した場合
あり	考慮	考慮	破堤

【留意事項】

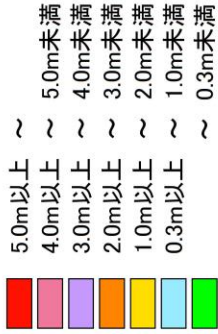
- 「津波浸水想定図」は、最大クラスの津波が一定の条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。
- 最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や今後発生が予測される津波から想定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。
- 実際の被害では、局地的な地面の凹凸や建築物、地震による地殻変動や構造物の変状等の影響を受けるため、計算条件と異なる影響が発生し、浸水域外での浸水の発生や、浸水深がさらに深くなる場合があります。



【兵庫県 津波浸水想定図：豊岡市 1】



凡 例 [浸水深]



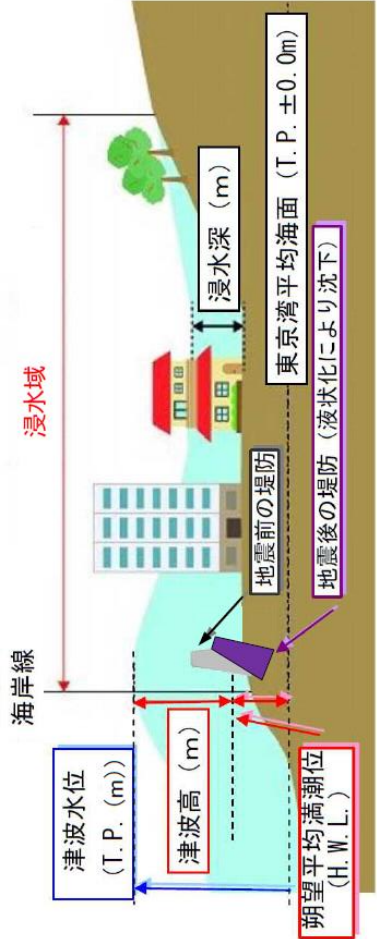
【構造物条件】
条件: 施設あり、地殻変動による沈下あり、天端越流破堤あり

- ※ 強振動による液状化に伴い防潮堤等の防潮施設は沈下し、さらに、津波が天端を越流したら破堤する
- ※ 常時閉鎖されている、あるいは、耐震性を有し、自動化され、津波が到達するまでに閉鎖が完了できる施設は「閉」条件とする

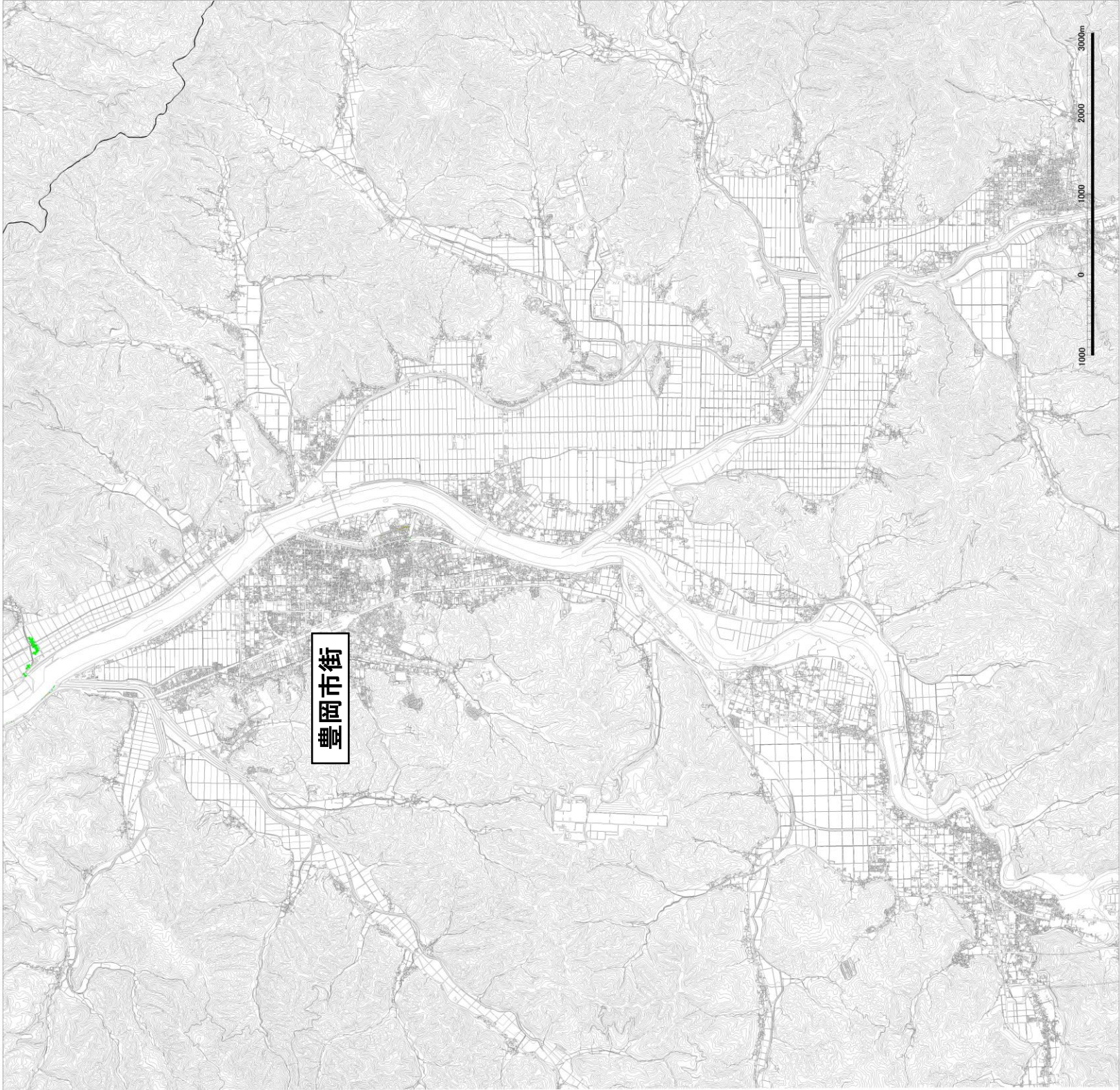
海岸保全施設 河川管理施設	地殻変動に伴う 沈下	液状化による 沈下	津波が施設天端を 越流した場合
あり	考慮	考慮	破堤

【留意事項】

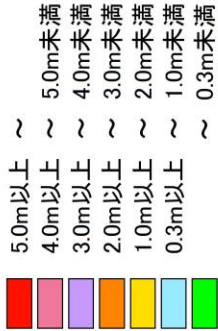
- 「津波浸水想定図」は、最大クラスの津波が一定の条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。
- 最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や今後発生が予測される津波から想定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。
- 実際の被害では、局地的な地面の凹凸や建築物、地震による地殻変動や、建造物の変状等の影響を受けるため、計算条件と異なる影響が発生し、浸水域外での浸水の発生や、浸水深がさらに深くなる場合があります。



【兵庫県 津波浸水想定図：豊岡市 2】



凡 例 [浸水深]



【構造物条件】
条件：施設あり、地殻変動による沈下あり、天端越流破堤あり

- ※ 強振動による液状化に伴い防潮堤等の防潮施設は沈下し、さらに、津波が天端を越流したら破堤する
- ※ 常時閉鎖されている、あるいは、耐震性を有し、自動化され、津波が到達するまでに閉鎖が完了できる施設は「閉」条件とする

海岸保全施設 河川管理施設	地殻変動に伴う 沈下	液状化による 沈下	津波が施設天端を 越流した場合
あり	考慮	考慮	破堤

【留意事項】

- 「津波浸水想定図」は、最大クラスの津波が一定の条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。
- 最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や今後発生が予測される津波から想定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。
- 実際の被害では、局地的な地面の凹凸や建築物、地震による地殻変動や構造物の変状等の影響を受けるため、計算条件と異なる影響が発生し、浸水域外での浸水の発生や、浸水深がさらに深くなる場合があります。

